

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 岡本公男

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857) 27-5566

鳥取選挙区は舞立しようじ氏 (自民党)を推薦決定！ 比例区は羽生田たかし氏(自民党)

鳥取県医師連盟(県医連)は、来る七月に予定されている参議院議員選挙対策について協議するため、三月二十三日、鳥取市・鳥取県医師会館において執行委員会を開催し、鳥取選挙区で自民党新人の舞立昇治(まいたち しょうじ)氏の推薦を決定した。



岡本委員長

執行委員会では、まず、比例区(旧全国区)について日本医師連盟(日医連)は、去る一月十五日開催した執行委員会において、羽生田たかし先生(日本医師会副会長)を組織内候補として推薦を決定し、一月

二十二日、自民党の公認を得たことが報告された。県医連では既に一月十日の県医連常任執行委員会で、羽生田たかし先生の推薦を決定しており、執行委員会に報告し了承された。

執行委員会で岡本委員長は「3年前の参議院選挙で全国の医療界はひとつにまとまることができなかった。今回は絶対に当選しなければならぬ。そのため



には医師連盟会員の絶大なご支援をお願いしたい」と挨拶し、羽生田たかし先生への支援を強力に訴えた。なお、今回改選期となる武見敬三参議院議員(昨年未繰上げ当選)は東京都選挙区(定数5)から立候補を予定している。一方、鳥取選挙区の対応については、協議の結果、自民党の新人、舞立昇治氏の推薦を決定した。

伯郡日吉津村出身の出身で三十七歳。地元の日吉津小学校、箕蚊屋中学校、米子東高を卒業後、東京大学経済学部に進学。平成十一年卒業と同時に自治省(今の総務省)に入省し、福岡県、下関市や新潟県などで財政畑を中心に勤務し、平成十三年には厚生労働省介護保険課にも勤務している。

自民党石破 茂幹事長からのたつての要請に応えるかたちで、平成二十五年二月に総務省を退職し、立候補を表明した。自民党では前二回の参議院選挙で、自民党で当選しながら離党した議員が二人続いたことから慎重に候補者の人選にあたった。そして去る二月二十日、鳥取市内で臨時党大会を開催し、党公認の候補者として正式に決定し、記者会見で決意表明をした。



立候補表明した舞立昇治氏

プロフィール

昭和50年生まれ (本籍地：鳥取県西伯郡日吉津村)
昭和63年3月 箕蚊屋中学校卒業
平成6年3月 米子東高校卒業
平成11年3月 東京大学経済学部卒業
平成14年4月 自治省入省
平成11年8月 福岡県庁地方課
平成13年4月 厚生労働省介護保険課

平成15年4月 総務省市町村税課
平成16年7月 総務省大臣官房企画課
平成17年4月 山口県下関市財政部長
平成19年7月 新潟県地域政策課長兼雪対策室長
平成21年4月 同財政課長
平成23年4月 総務省秘書課兼消防庁総務課
平成23年5月 消防庁消防・救急課
平成24年4月 総務省公営企業課兼準公営企業室

日医連ニュースより

「日医連執行委員会」開催
参議院比例代表選挙
羽生田たかし副委員長の推薦を決定!

1月15日、日医連は、日

本医師会館で執行委員会を
開催し、「参議院比例代表

選挙について」「平成23年

度収支決算」「平成25年度
負担金基準額」の審議を

行った。喫緊の課題である

本年7月下旬に投票予定

の参議院比例代表選挙につ

いては、羽生田たかし日医

連副委員長(日医副会長)

を日本医師連盟推薦候補者

とすることを全会一致で決

議した。

なお、1月22日、羽生田

たかし氏の自由民主党公認

が決定した。

負けられない戦い、全国の医

師連盟が総力をあげて支援を

執行委員会は、今村聡副

委員長の司会で開会。はじ

めに昨年十二月に繰り上げ

当選した武見敬三参議院議

員から挨拶があった。

引き続き横倉義武委員

長が挨拶に立った。

「本日はご多忙のなか執

行委員会に参集いただき感

謝申し上げる。参議院比例

代表選挙については、昨年

十二月に行われた衆議院総

選挙を受けて、十二月十八

日に常任執行委員会を開催

し、常任執行委員の先生か

ら意見を賜った。要約する

とその内容は、「日医連の

組織を強化していくには、

日医連を代表する候補の擁

立を行うべき』『日本医師

会の医療政策を実現させて

いくには、政権与党から候

補者を擁立するべき』『選

挙まで半年と時間が限られ

ているので、知名度のある
執行部から候補者を選定す
るべき』の三点であった。

すでに、歯科医師会、薬
剤師会、看護協会、検査技
師会、理学療法士会は、今
夏の参議院比例代表選挙へ
推薦候補者の擁立を決定し
ている。

最近の医療政策のなか
で、チーム医療推進の名の
もとに『看護職の特定機能
の承認』『生活習慣病薬の
スイッチOTC化の問題』
等があり、このような動き
を見てみると、過去二回の
参議院選挙で日医連の力が
おちているというふうに他
団体から見られ、今回の参
議院選挙でも候補者を擁立
できない、また当選もでき
ないということでは、医師
の領域をさらに侵食されて
しまうという懸念もあり、
今回は候補者を出すべきで
あると判断した」

全国が一致して推薦できる候補者を検討

「また、先ほど開催した常任執行委員会において、複数の都道府県医師連盟からの推薦があった、『羽生田たかし副委員長』を日医連の代表候補として戦おうとの意見集約に至ったところである。

については、羽生田副委員長を日医連の代表候補者としてと考えると、執行委員の先生方の意見を賜りたい」と提案し、全会一致で羽生田たかし副委員長（日医副会長）を推薦候補者とすることを決議した。

全会一致で羽生田氏の推薦を決定

併せて、全国の都道府県医師連盟、郡市区医師連盟が一丸となって支援体制を構築すること、医療関係団体へも早急に支援要請を行うことも確認された。

参議院比例区 はにゆうだ 羽生田たかし先生の 政策理念

④参議院比例区（旧全国区）で日本医師連盟推薦の候補者は前二回、落選を喫していることから今回は「医療界、全国の医師連盟が一丸となって応援できる候補者」について人選をすすめ、去る一月十五日開催した日本医師連盟執行委員会において全会一致で、羽生田たかし先生（日本医師会副会長）の推薦を決定した。

すべての人に
やさしい医療を

私は、四十年にわたり、医師として医療の現場に携わってきました。そこで、誰もが安心して医療を受けられることの大

切さを心から実感しました。日本の医療制度が揺らぎ

はじめている今だからこそ、日本の医療を、そして国民の皆さまを守りたい。

その想いを胸に、よりよい社会づくりに努めてまいります。

安心して医療が受けられる社会を創ります。

誰もが、いつでもどこでも、最良の医療を受けられるように。

国民皆保険体制を守り、国民が必要とする医療を、最適なかたちで受けることのできる社会をつくりま

す。TPP 導入による国民皆

保険崩壊の阻止
医療における営利企業（株式会社）参入の阻止
混合診療全面解禁への反対

社会保険診療にかかる控除対象外消費税の解消
健康保険料率の格差是正

地域に密着した医療を創ります。
身近で、暮らしと強く結びついた地域医療を目指して。

高齢社会をふまえ、それぞれの地域に応じた保健・医療・介護体制の整備を実現します。

急性期から在宅まで、切れ目のない医療の提供
医師不足・看護師不足の解消

医学部教育から臨床研修まで一貫した医師養成
生涯にわたる保健事業の推進

男女共同参画の推進

被災者の方々の健康保持にも努めます。
東日本大震災で被災され、今なお仮設住宅等でご不便な生活を強いられている皆さまへの医療提供体制の充実と、医療従事者の皆さまへの支援を被災者健康支援連絡協議会事務局長としての経験を生かし進めます。

●サポーター名簿獲得

羽生田たかし先生の支援体制としてサポーター名簿の獲得運動の要請が日医連から来ており、現在、各地区医師連盟経由で展開中があります。名簿の獲得は、

羽生田たかし



室内用
自民党 参議院比例区全国区支部長

日本医師会 副会長

すべての人にやさしい医療を

ホームページ www.hanyuda-t.jp

各位

羽生田たかし後援会
会長 横倉 義武

「羽生田たかし」さんを支援する「サポーター名簿の取り扱い」について(お願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
皆様におかれましては、日頃よりご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、日本医師連盟では、第23回参議院議員通常選挙における比例代表候補者として、日本医師会副会長である「羽生田たかし」さんを推薦決定しております。皆様のご協力のもと、全国的な体制で国政報告会等の後援会活動を展開しているところです。「羽生田たかし」さんは、「すべての人にやさしい医療を」というスローガンを掲げ、国民の視点に立って医療制度の充実に向けて活動を続けております。
当後援会としては、全国で300万人(会員1人当たり36名以上)のサポーターを集めることを目標に、皆様の更なるご協力を賜り、後援会活動に弾みをつけてまいりたいと考えております。
つきましては、「サポーター名簿の取り扱い」を下記のとおりいたしましたので、ご一読いただき、ご対応方お願い申し上げます。
皆様の一層のご理解とご支援を重ねてお願い申し上げます。

敬具

「サポーター名簿の取り扱い」

- ① 紹介者にあつては、ご本人の所属・連絡先などを必ずご記入ください。
- ② 紹介者は、必ず36名以上の支援者の氏名・連絡先等をもれなくご記入ください。記入にあたりまして、押印や入会金の必要はございません。家族・知人・友人など紹介者の身近にいる方、または、必ず紹介者のご存知の方をご記入ください。
- ③ 後援会事務所から御礼等のご連絡をいたしますので、支援者の方々はその旨を必ずお伝えください。また、同封しました「リーフレット」をお渡しください。
- ④ 紹介者は、36名以上のご支援をいただきましたら、その名簿を当該郡市区医師連盟(会)にご送付ください。なお、紹介者は名簿の写しを必ずお手元に保管してください。
- ⑤ 36名以上の紹介がございましたら、同封の名簿用紙をコピーしてご使用いただくか、または、当該郡市区医師連盟(会)にご連絡ください。
- ⑥ 記載情報は、後援会で厳重に管理し、政治活動以外の目的に使用いたしません。

「お願い」

- ・署名簿のこと
A1会員一人あたり40名
 - ・ポスターのこと
「室内用」と記載されたポスターは、院内の診察室などに掲示できません。待合室などで外に向けて貼ることはできませんのでご注意ください。
- 主にA1会員が主体となつて行っており、家族、従業員のほか患者さんなどに理解をいただきながら行っています。
- 以上の獲得をお願いしたい。

略 歴

昭和23年 3月28日 群馬県前橋市生まれ	平成6年 6月 労働衛生コンサルタント
昭和41年 3月 群馬県立前橋高等学校卒業	平成12年 4月 社団法人日本医師会常任理事
昭和48年 3月 東京医科大学医学部卒業	平成15年 3月 日本防災士機構理事
昭和48年 6月 群馬大学医学部附属病院眼科学教室入局	平成20年 3月 スペシャルオリンピックス日本理事
昭和53年 4月 羽生田眼科医院院長	平成22年 4月 社団法人日本医師会副会長
昭和62年11月 社団法人前橋市医師会理事	平成25年 2月 自民党参議院比例区(全国区)支部長
平成5年 4月 社団法人群馬県医師会理事	

参議院(全国比例区)選挙の投票方法をごぞんじですか?

全国比例区は全国すべての地域にお住まいの方に候補者名を書いていただける「記名式」の選挙です。

2枚目
比例代表も
候補者名(個人名)を書いて投票



全国どこにお住まいでも

○2001年(平成13年)より制度が変わり、比例区も候補者名(個人名)を書くこととなりました。